

はじめに

みなさん、ご存知ですか？米原市には大小含めて250を超える湧水や滝が存在していることを。これは、平成23年度に米原市が実施した水環境調査により明らかになつたものです。調査は、地域への聞き取りや現地確認、水質調査などを行い、河川や農業水利施設、水と地域との関わりにまで発展しました。この調査の中で見えてきたことは、水はかつてもっと私たちの身边にあり、地域で大切に守られ、その恵みも脅威も肌で感じることができいたということです。

例えば、ひと昔前までは、どこの川にも「カワト」と呼ばれる洗い場があり、水を汚さないようにルールが決められ、大切に守られてきました。また、飲料水や田用水にも川の水や湧水、地下水を利用していたため、これらの水と生活は密接な関わりを持つていました。水道の蛇口をひねればあたりまえのように水が出てくる今の暮らしは、水が地域の中はどうやって循環しているのかが見えなくなり、その重要性は私た

ちの生活から忘れ去られ、ともすれば無限に存在しているかのような錯覚にさえ陥っています。

「水」は、ありとあらゆる地球上の生命の源です。長い年月をかけて森林から地下に蓄えられた水、手軽には手に入らなかつたけれど美しく澄んでいた水。3・11の東日本大震災を経験した今、この本が、かつてのスローな水と人の暮らし方から、現代の水を取り巻く自然環境やライフスタイルについて考えていただきつかけとなり、自然豊かな“水源の里まいばら”が、そして日本が、次世代に受け継がれ、いつまでも続いていくことを願つて・・・



